

**2021年度 高等学院同窓会学術研究奨励金
研究成果報告書概要（WEB 公開用）**

高等学院長
高等学院同窓会理事長 殿

研究代表者氏名 [福田伊織]

学年・組・番号 [2年G組13番]

研究課題： リーダーのあるべき姿とは何か

(英文) What should be a leader?

研究概要：

(研究課題を選んだ動機、達成するための計画・目的・方法等について200～400字で記入してください)

昨年もこの奨励金で同じテーマであるリーダーシップについて研究した。しかし、コロナウイルス蔓延に伴い実際にリーダーという立場にいる人たちに話を聞くことはできず、様々な著書を使いリーダーシップについて研究した。そこで得られた知識を使い、今年度では実際に3人の人物に会いリーダーシップについての知識を深めた。その三人の人物とは、学院長、早稲田大学バスケットボール部主将そして杉並区長である。学院長には早稲田メール、杉並区長には直接区長の秘書にメールをしてコンタクトを取った。また、早稲田大学バスケットボール部主将には、先輩を通してコンタクトをとることに成功した。あらかじめ10個の質問を自分で作りそれに答えて頂くというインタビュー形式をとり話し合いをした。

研究成果：

(研究の結果概要、結果に対するフィードバックや感想等について200～400字で記入してください)

質問した内容は、苦勞したエピソードや信頼についてである。ここでは相違点や共通点を説明する。まず、チームの仕組みについての相違点を説明する。会社や部活などは絶対的なリーダーが存在するのでトップダウン型ある。しかし、学院の場合はボトムアップ型でリーダーというよりかは「まとめ役」いう役割をしている。また、ボトムアップ型では信頼について絶対的なものを得る必要がない。他の二者に「信頼」について伺ったところ、主将は何事にも人の平均以上のことをやる、杉並区長の場合は有言実行に重きを置いている。また、共通点としては、大変だったエピソードの原因がチームのベクトルが同じ方向に向いていなかったことや、忙しすぎたことがあげられていた。

研究者：(以下の、代表者・分担者は学年・組・氏名を明記する)

研究代表者 福田伊織

担当教諭 川田泰之

(受給額： 1万 円)

※研究課題、研究概要、研究成果、研究代表者名がWEB ページ上で公開されることに同意します
(次のページに続きます)

研究成果写真：

(研究過程がわかる写真や、研究結果がわかる写真などを数点貼り付けてください)



以上